

NY日本人学校の1、2年生  
 ニューヨーク日本人学校(コネチカット州グリニッチ、森本恵作校長)の1、2年生が、Bruno M. Pontiero, Ridge Street Schoolと学校間交流を行った。子供たちは現地の公立学校の同学年と交流し、日本文化や新しい学びに触れる機会を得た。

## 現地校生に日本文化紹介



まずは現地校の友達を招き、しまおにやハンカチ落とし、ドッジボールなどの遊びを子供たちが担当した。最初は緊張していたものの、ゲームが始まるとすぐに打ち解け、笑顔で楽しむ姿が見られた。文化体験では、書写やけん玉、折り紙、カルタに分かれて交流した。折り紙では、最初にあまり選ばれなかったカブトを「なぜ人気がないか」を振り返り、サムライの説明や演技を交えて工夫するなど、伝える力を育む姿が印象的であった。翌週には子供たちが現地校を訪問し、自己紹介のあと、数のそろくや紙コップタワー、ジップラインをペアで作ったり、英語の本と一緒に読む姿が見られた。現地校からお土産も大喜びで、楽しみながら学ぶ経験となった。今回の交流を通して、子供たちは言葉や文化の違いを越えて関わる楽しさを実感し、工夫する力や伝える力を育むことができた。



## プリンス頓日本語学校 創立45周年記念

### 冷泉さんが講演 2030年代を語る

2月8日、プリンス頓日本語学校(平本秀次文部科学省派遣校長)にて、評論家・同校高等部ディレクターでもある冷泉彰彦氏の講演会が開催された。子供も成長する2030年代のアメリカと日本と題された講演では、急速に進化するAI時代において、日米の狭間で育つ子どもたちに何を伝えるべきか、現代社会の課題と備えるべき姿勢が熱く語られた。

「2030年代は、海図のない海域になる」とそんな衝撃的な言葉で講演を切り出した冷泉氏は、現在のAIは決して人間のように「考えて」いるわけではなく、膨大なデータを統計的に処理しているに過ぎないと指摘。だからこそ、AIに

に使われるのではなく「使いこなす側」であり続けるために、人間にしかできないスキルを磨くことが不可欠だと強調した。次世代を生きるために要求されるのは、AIをコントロールするための土台となる「STEMの知識」、統計データからは生まれない人間ならではの「創造力」。そして、物事を多角的に捉え、自ら対立軸を創造・発見する批判的思考や、他者の痛みに寄り添う「感情的知性」の4つとなると述べた。講演では「薬の治験」「自動運転」「日本画」「クラシックのコンクール」という4つの例が紹介された。これらは、AIがどれほど効率的に正解を導き出せるようになっても、最終的な価値判断や倫理的な決定は人間にしか成し得ないと解説。テクノロジが進化する今だからこそ、人間としての根源的な力が問われているのだと、力強く語った。最後に、先日の日本の総

## 父親参観日 こどものくに幼稚園



こどものくに幼稚園は8日に父親参観日を行った。日曜日に幼稚園でお父さんと一緒に遊べる特別な日。各クラスで、ふれあい遊び、伝承遊び、運動遊び、ゲーム遊びなど、子ども達が普段から楽しんでいる遊びを中心に過ごした。特にふれあい遊びでは、顔を向き合っただけでお互いが嬉しく恥ずかしい気持ちになった様子だった。お腹をこちょこちょ、お顔をつんつん、そんな何気ないふれあい遊びで子ども達の大きな笑い声と笑顔が溢れた。また、運動遊びでは子ども達の動きに合わせて身体を動かしていたお父さん達。息があがっても「大丈夫です!」と力強い姿を見せていた。この日の最後は、幼稚園で歌ったお父さんへ贈ったプレゼントに一人ずつ「お父さん」についてメッセージが書かれていた。お父さんへ子ども達の思いが伝わり、親子の絆が深まる一日となった。

## 「10歳のつどい」

### NY日本人学校 4年生夢を語る

ニューヨーク日本人学校(コネチカット州グリニッチ、森本恵作校長)は1月29日、4年生の「10歳のつどい」を行った。この式典は10歳を迎える子供たちを祝うとともに、自分の将来について考える大切な時間として実施された。式典では、校長先生から「成長証書」が一人一人に手渡された。証書を受け取った子供たちは、これまでの歩み

を選挙についても独自の分析が述べられた。冷泉先生はこの選挙を「不思議な選挙であった」と振り返った。どの政党も有権者の支持を得ようと「減税」を声高に訴える一方で、その裏付けとなる具体的な財源については、どの政党も提示しなかったという矛盾を指摘した。

た。本来なら無理があるはずの主張が並ぶ中、それでも有権者が下した判断は、この厳しい現実を冷静に見極めようとする姿勢の表れではないか、と語った。身近な話題ということもあり、会場に集まった多くの参加者も興味深く聞き入っていた。



## こどものくに幼稚園

♪夢をのせていま世界へ♪

50年の実績

異文化に暮らす幼児の健全な発育に欠かせない母国語の重要性は、意外と知られていないのが現状です。本園は心、知、体そして社会性をバランス良く発達させるために理想的な保育環境を追求して50年の実績を誇ります。研究を重ねたプログラムと献身的な教師陣が、世界にはばたく日本人を育むお手伝いをします。子どもたちの目の輝きが違います。ぜひ一度ご見学下さい。

途中入園についてのお問い合わせ、また園見学ご希望の場合は園にご連絡ください。

252 Soundview Avenue  
White Plains, NY 10606  
E-mail: kk@kodomonny.org

資料請求先: Tel: 914-949-0067  
Fax: 914-949-0247  
URL: www.kodomonny.org

サマーキャンプ  
オンライン説明会開催中!

東京-フロストバレー  
YMCAパートナーシップ

2000 Frost Valley Rd, Claryville, NY  
(NYCから車で2時間半)

EMAIL:  
tokyo-info@  
frostvalley.org  
(日本語でどうぞ)

日本語と英語で広がる世界  
BRIGHT FUTURES  
START AT CAMP

北米伊藤園 ITO EN

## 新俳句グランプリ 2026

あなたの新俳句、ご応募お待ちしております!

今年のグランプリは10/31まで開催。毎月第4週目号に掲載される日本語句7句、英語句7句、18歳以下の句7句が年間大賞の候補です。各部門、金賞、銀賞、銅賞受賞者には豪華賞品が送られます。

詳細、応募要項は [www.artofhaiku.org](http://www.artofhaiku.org) をご覧下さい!

主催: ニューヨーク生活プレス社 特別協賛: 北米伊藤園

2026年度 NY育英学園 サマースクール

2/6(金)より申し込み開始

- 幼児部、小学部、英語、野球教室、Lake Greeleyキャンプの5つのプログラム
- 未就園~中学生まで参加可能
- バス送迎あり (NJ、NY、West Chesterエリア)

お問い合わせ NY育英学園 Phone: 201-947-4832  
E-mail: summerschool@nyikuei.org